

【戦略3】「園芸大国やまがた」の実現

本県の強みである果樹のブランド力の強化、水田フル活用による野菜等の大規模園芸団地化、次世代型施設園芸の導入により、園芸作物のさらなる拡大を目指していく。

(1)-① 山形さくらんぼ世界一ブランド強化プロジェクト

【目標指標】

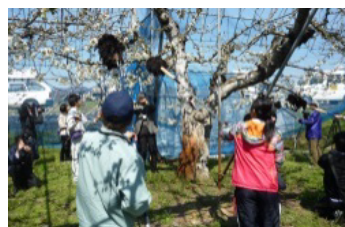
| 目標指標 | 現状値 | H29目標値 | H32目標値 |
|--------------|--------------|---------|---------|
| さくらんぼ収穫量 | 13,200t(H27) | 14,000t | 14,300t |
| さくらんぼ産出額 | 332億円(H26) | 341億円 | 345億円 |
| さくらんぼ大玉品種の開発 | - | 1品種登録出願 | 1品種登録 |

【29年度の取組み】

<これまでの取組み>

○オール山形によるブランド力の強化

- ・山形さくらんぼブランド力強化推進協議会を開催(4/18、8/23)
- ・安定生産のための広報キャラバンを実施(4/5～)
- ・出荷規格順守のための啓発活動を実施(県内産地市場、沿道販売店等)
- ・省力・軽労的な仕立て方の作業性を評価(園芸試験場)



■結実確保対策徹底キャラバン
(人工受粉作業の実演)



■省力・軽労化樹形
(平棚仕立て)

○さくらんぼ労働力の確保

- ・子育てママ向けフリー情報誌による募集PR(4、5月、5万部×2回)
- ・作業体験研修会を開催(子育てママ対象:6/7、11名、仙台圏居住者対象:5/27、47名)
- ・県職員有志等による作業ボランティアを実施(6/24、81名)



■作業体験研修会



■県職員有志等による作業ボランティア

○さくらんぼ世界一プロジェクトの推進

- ・世界各国の研究者が一堂に会し、国際アウトウシンポジウムを開催(28か国、245名)
- ・収穫ロボットの開発(山形大学)
- ・大玉有望系統「山園C12号」の生育・果実特性の評価・検討(県内10か所)



■収穫ロボット試作機

<今後の取組み予定>

- ・樹園地継承の優良事例収集やあり方検討ワーキンググループの開催(2月)
- ・次年度の労働力確保対策を検討するプロジェクト会議の開催(2月)

【評価と課題】

○オール山形によるブランド力の強化

- ・収穫量は14,600t程度で、産出額は過去最高の340～350億円程度の見込み
- ・「オール山形」での高品質安定生産と良品出荷の継続した取組みに加え、省力・軽労的な仕立て方の導入を加速化するソフト・ハード両面からの支援が必要

○さくらんぼ労働力の確保

- ・JA無料職業紹介所の雇用実績が増加(H29雇用数:131名、H28より18名増)
- ・多様な労働力の掘り起こしや外国人労働者の活用の検討等が必要

○さくらんぼ世界一プロジェクトの推進

- ・収穫ロボット試作機の作製
- ・収穫ロボットの実用化に向けた研究の加速化が必要

【戦略3】「園芸大国やまがた」の実現

本県の強みである果樹のブランド力の強化、水田フル活用による野菜等の大規模園芸団地化、次世代型施設園芸の導入により、園芸作物のさらなる拡大を目指していく。

(4)-① 園芸作物大規模集積団地推進プロジェクト

【目標指標】

| 目標指標 | 現状値 | H29目標値 | H32目標値 |
|-------------------|-----|--------|--------|
| 新たな大規模集積園芸団地数(累計) | — | 5団地 | 20団地 |

【29年度の取組み】

＜これまでの取組み＞

○大規模集積園芸団地づくりに向けた合意形成

- ・団地化の取組方針を協議する大規模園芸団地化プロジェクト会議の設置(5/10)
- ・園芸団地化推進員の配置(各総合支庁に1名、合計4名)と、団地化計画に基づく団地整備や営農開始までの総合的な支援をワンストップで実施
- ・制度周知と団地化地区の掘り起こしのために、県内8か所での意見交換会(4/20～28)や、JA・市町村との個別打ち合わせ(5月～10月)を実施

○大規模集積園芸団地の整備支援

- ・大規模園芸団地の合意形成地区に市町村、JA、総合支庁等で構成する園芸団地化支援チームを設置し、団地化計画の策定を支援(5月～10月)

| NO | 市町村 | 品目 |
|----|--------------|--------|
| 1 | 山形市(南石関地区) | セルリー |
| 2 | 山形市(中沼地区) | きゅうり |
| 3 | 西川町(吉川地区) | 啓翁桜 |
| 4 | 真室川町(及位地区) | ブロッコリー |
| 5 | 白鷹町(鮎貝・蚕桑地区) | 枝豆 |
| 6 | 酒田市(黒森・十坂地区) | ゆり・カラー |

- ・園芸大規模集積団地整備支援事業の採択(9月)



■枝豆団地



■セルリー団地

＜今後の取組み予定＞

○大規模集積園芸団地づくりに向けた合意形成

- ・プロジェクト会議を開催し、これまでの取組みを評価・検証(12月)
- ・引き続き、新たな団地形成に向けた合意形成を推進(11月～3月)

○大規模集積園芸団地の整備支援

- ・園芸大規模集積団地支援事業等による団地の施設整備や機械導入を支援(～3月)

【評価と課題】

○大規模集積園芸団地づくりに向けた合意形成

- ・園芸団地化推進員や団地化支援チームによる支援により、6か所で団地化計画を策定
- ・新たな団地化地区の掘り起こしや団地化計画の策定、営農開始までの総合的な支援を継続して実施することが必要

○大規模集積園芸団地の整備支援

- ・園芸大規模集積団地整備支援事業の他、各種補助事業を活用し、6つの団地整備に着手
- ・団地整備に加え、担い手や労働力の確保、省力化技術の導入など、ハード・ソフト両面からの支援が必要